

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 6月24日更新

事務事業名		消毒機械貸出事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	2	緑豊かな環境と共生するまちづくり				所属部	総務部	課長名	北里 利朗
	施策	9	住環境の充実				所属課	環境衛生課	担当者名	高木 涼太郎
	施策の柱	23	環境衛生の充実				所属班	環境衛生班	(内線)	1144
予算科目		会計一般	款4	項1	目7	事業連番11471	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度		☐ 27年度で終了 ☐ 27年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的として開始した。平成24年度から各自治会(区)の判断で実施する区へ消毒機械の貸出しを行い、消毒薬剤の購入は各自治会負担とした。
【業務の流れ】	消毒機械の点検・修理・貸出し
【主な予算費目】	修繕費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)		28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
消毒機械の点検・修理・貸し出しを行った。 消毒機の貸し出し台数(延べ) 22台、消毒実施世帯数 487世帯		消毒機械の点検・修理・貸出し
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
⇒ ア 消毒機械の貸し出し数	台	消毒機械整備台数の増による修繕費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
⇒ ア 家屋数	戸	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
⇒ ア 消毒実施世帯数	戸	
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
衛生害虫を駆除することにより、伝染病の予防を目的としており、成果指標を「消毒実施世帯数」と設定した。平成27年度目標値は現状の消毒実施世帯数で推移すると考え「790戸」と設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移											
		単位	25年度 実績(決算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	27年度 実績(決算)	28年度 目標(当初予算)	29年度 予定	30年度 見込	31年度 見込	
① 活動指標		台	37	37	40	22	40	40	40	40	
② 対象指標		戸	21,938	22,392	21,800	22,746	21,900	22,000	22,100	22,200	
③ 成果指標		戸	850	721	790	487	730	730	730	730	
投資 入費 量	事業 内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	231	200	150	150	200	200	200	200
	(A) 事業費計	(A)のうち指定経費	千円	231	200	150	150	200	200	200	200
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	6	3	5	0	5	5	5	5
	延べ業務時間	時間	336	105	150	0	150	150	150	150	
	(B) 人件費計	千円	1,338	418	597	0	597	597	597	597	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,569	618	747	150	797	797	797	797	

事務事業名	消毒機械貸出事業	所属部	総務部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は27年度の後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	☐ 達成した 貸し出し希望者数の減による。 ☒ 達成しなかった ⇒【原因】
	②28年度目標達成見込み	☐ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☒ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 平成24年度から消毒薬剤を自己負担にしたため、実施世帯が減ってきていることもあり目標達成は難しい。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 消毒を実施する世帯が減少してきている。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費が修繕費なので削減できない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 最少人員で行っているので削減の余地なし
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担の見地から、薬剤は使用者負担とした。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第28条に規定する発生予防の目的に資するので適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

消毒希望家屋の減少、薬剤の自己負担により消毒機械貸し出しの希望者は減少傾向にあり、消毒家屋が減少したと思われる。貸し出しの希望者は減少傾向にあるが、市民の生活環境に資する事業なので継続していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☐ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策